



食品の提供者と 活用者をつなぐ フードドライブ

加須市は2010年3月23日に旧加須市、旧騎西町、旧北川辺町、旧大利根町の1市3町が合併して誕生しました。利根川に育まれた肥沃な土と豊かな水を利用した昔ながらの田園風景が広がるほか、「不動ヶ岡不動尊總願寺」などの有形、無形の文化財が存在しています。



食品ロス削減のために

顔の見える関係づくりを目指す

加須市では、2021年1月から「子育てフードドライブ事業」を開始し、毎奇数月の第2週を「加須市子育てフードドライブ週間」と定め、「～やさしい気持ちをいただきます～」を合言葉に、市民や地元企業・団体をはじめ多くの皆様から食品を寄贈して頂いています。

集まった食品は、地域の子どもたちに食事を通じた居場所を提供する「子ども食堂5団体」や、ひとり親世帯等の子育て中で支援が必要な家庭に無償で配布する「子育て応援フードパントリー6団体」に贈呈しています。

フードドライブの実施に当たり、市の広報やホームページへの掲載をはじめ、加須市社会福祉協議会、民生委員の方、学校関係者等に情報発信の協力をお願いしています。回を追うごとにご家庭や地元企業・団体等から食品の提供が増え、確実に支援の輪が広がっています。



子ども食堂・フードパントリー支援ネットワーク化

市内で活動する「子ども食堂5団体」と「フードパントリー6団体」の課題解決及び持続可能な運営を目指し、2023年5月29日にネットワーク組織「加須市子育て応援子ども食堂・フードパントリー団体連絡会」が発足し、地元企業・団体、行政、加須市社会福祉協議会等との連携により、SDGsの視点に基づく新たな市民協働の子育て支援ネットワーク(加須モデル)が始動しました。

今後、フードドライブ等で受け入れた食品を一時保管できる共同倉庫の確保などの食品受け入れ態勢の強化や、地域に根差した活動を安定的・効率的に継続するための体制づくりを図っていくことで、より多くの子育て世帯に支援が届くように進めていきます。



加須市からのメッセージ

フードドライブを始めたいきっかけは、市内のフードパントリー活動団体の方からいただいた、「市民から食品を寄贈いただけるとうれしい」というお話でした。

最初は、複数の活動団体の方との折衝も不安でしたが、市との窓口となる団体を一本化してもらったことで、円滑に動き出しました。

集まった食品については、団体間で調整をお願いし、それぞれ持ち帰っていただいています。

団体がフードパントリーを実施する月にフードドライブを実施することで、団体の食品保管の問題もクリアされます。

フードドライブは、関係する誰からも喜ばれる取組です。

一回で提供できる食品は少量でも、広報や報道などを通じて知った方から、食品を寄贈したいというお話をいただくなど、良い循環が生まれてきています。

今後も、より多くの方にこの取組を知っていただき、ご参加いただける取組にしていきたいと考えています。